







































国指定重要文化財 建造物

昭和47年5月15日指定

# 旧宗元寺第一門及び石牆

沖縄県指定 有形文化財 彫刻

昭和30年1月25日指定

# 宗元寺下馬碑

宗元寺は臨濟宗の寺で山号を靈徳山といいた。王府時代の国廟(天孫氏を  
 祀めとする歴代国王の神位が安置され、冊封使が来た時には新王冊封に  
 先立って先王を祀る諭祭が行われた。かつて宗元寺は国宝に指定されて  
 いたが、先の大戦で正廟を祀めとする本造建築物はすべて焼失した。  
 第一門及び石牆は、正面中央の切石積み三連の拱門(アチ門)とその左右  
 に延びる両掖門を備えた琉球石灰岩のあいかた積みの石垣であり、沖縄  
 の石造拱門の代表的なものである。  
 石門の東に立つ石碑が下馬碑で、戦前は西にも同じものがあり、国の重要美術  
 品に指定されていた。表はかな書き、裏は漢文で、この碑のどこかに下  
 命している。また、碑銘に「天崩王...」





















































